

ARMAMENT: CALCIUM

武装カルシウム

邪

猫

じゃいん

そうりよ

淫

福

成  
け入  
向

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





貴様…



何を…  
思い出して  
いるんだ？



ジャインツワロ

邪

淫

僧

侶

Hotter than hot



お話は住職より  
伺っております

聖白蓮様のような  
ご高名なの方が  
御停泊なさると聞き  
楽しみにして  
おりました

いえ…  
私などまだ  
若輩で…

大したお構いも  
できないかも  
しれませんが

今晩はごゆっくりと  
おくつろぎ下さい

ありがとうございます

早速  
住職の元へ  
ご案内いたし  
ます

どうぞ  
こちらへ

はい

よろしく  
願います







あの御仁が  
近頃評判が  
白蓮聖人だ  
そうだな

なんと  
お若い…

あの若さで  
阿闍梨と  
なられたそうだ

おいたか？  
見たか？



若住職が  
お呼びに  
なつたのか？

ああ…

ここも先代が  
亡くなって  
未だ半月余り…

性急に跡目を  
継いだとはいえ



若住職も未だ  
混乱の極みに  
あろう

紐ひもろうとお  
お考えになるのも  
解らぬではない

ことに…

先代の最期が  
あのようではな…



或いは…



滝業中に誤って落ちたのか



…  
…  
…  
どうしましたか？



先代が亡くなったのは半月前の布薩会の当日…

界限では…その席で先代は…とある懺悔をするのではないかと専らでございました…

先代様が…？



…  
私は長年先代の下で修行し筆頭弟子の立場にありました故

未だに信じられないことなのですが…



阿闍梨である貴方様だからこそお話いたします

くれぐれもご内密に…



女犯、に

いらっしゃいます

言うまでもなく  
仏門で異性と  
交わることは  
重大な破戒行為…

表立って  
斯様なことが  
行われていた  
わけでは  
ございません

しかし…

事実 先代は  
特に戒律に対し  
大変厳しい立場を  
とっておられました

亡くなる  
ひと月ほど前から  
先代が  
里で女人を買う  
姿を見たという者が  
現れ始めました

期を同じくして  
その顔色は失せ

殆どの務めを  
我々に任せ、  
寝所に籠るよう  
なっていました

院内では  
皆口々に  
噂しました…

先代は  
色欲の魔物に  
取り憑かれて  
いる、と

本当に先代が魔物の類に取り憑かれていたのかどうかは分かりませんが…

ただ…私は恐れています。

白蓮聖人

私は…

先代すら打ち勝てなかったかもしれない魔物…

それに囚われ仏門の道に迷いが生じる事を

この恐れにどう対峙するべきなのでしょう…

あなた…

女と交わった経験は…？

ご冗談を！  
ある筈がありません！

あら…

では男色？

この院にもお稚児さんがおりましたね？

何を！

私はあの子達を  
そういった目で  
見たことはありません！  
断じてありません！

バツ



私の事は？

ガ  
バッ

シ  
シ  
サ

何を  
なさいます  
聖人…

うっ…!?

なっ…







結局こっちは  
これですか？  
触っても  
ないのに…

あらら…  
口ほど  
にもない…

うっ

くっ



ぐっ…！

…それって  
何ですか？

し…聖人っ  
いけませんっ…  
それは…

うっ！  
うっ！  
うっ！

アルアル  
アル









見えなくなっちゃいましたね？

よーしょ



あー

く…

あー



中でピクピクしてますけど？

ほらどうしたんです？

♡♡

あー

ピクピク

あー

あー

それはっ…

ううっ

あぁっ…！！



失礼  
いたします、  
白蓮聖人、  
和尚

夕餉の準備が  
整いましたので  
お迎えに  
あがりました

食堂まで  
おいでください

お心遣い  
まことに  
ありがとうございます……

でも……

あなたの和尚は  
ここには  
いませんよ

ハッ

ハッ





えり？  
ではどこへ？

本堂へ行かれ  
ましたよ

本日最後の  
お勤めだ  
そうです

たぽっ♡

たぽっ♡

たぽっ

この時間まで  
熱心ですね



たぽっ

自らを律し、  
自らの行いを以て



はいっ！

和尚様は  
いつも我々の  
見本です



たぽっ

進むべき道へ  
導いて下さる  
のです



たぽっ

たぽっ





お勤めから  
戻られたら  
お伝えして  
おきますわ

それは  
素晴らしい  
ことですね…

そうですか…

よほど  
信頼されて  
いるのですね、  
住職様は…

皆さんが  
お待ちです、  
と…

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



よろしくお願  
いたします

はいっ





ふうっ...

まったくあなたは...

お稚児さんにあんなに信頼されてるのに...

あの場面で出しちゃうんですから...

たん

しかもこんなに

あゝあゝ...

グ  
アッ

そんなに気持ちよかったですか？

ほあ？

...



れろ

おっ

く...あッ

これは色欲を出し尽くしてあげなければいけないね...

もうこれ以上...

あああッ...!

色欲などありません...

...

あゝあゝ...

あゝあゝ...

あゝあゝ...

あゝあゝ...



ホントですか？

今から試して  
あげますから。

おおおお  
おおおお  
おお

そんなに言うなら  
ガマンできますよね？



ひん

ちゅ

ちゅっ



脚：  
びんちゅって  
なっちゃうって  
ますよ...？

おお

びんちゅ  
びんちゅ

びんちゅ

びんちゅ





やっぱり  
まだまだ出るじや  
ないですか…



全て出し  
尽くして  
もらいます  
からね？

ちゅっ  
ひゅっ



びゅっ  
びゅっ

そ…  
そんなんっ…

びゅっ  
びゅっ







おっ……  
そろそろ  
しますか？

スッ

あなたが本当に  
したいこと……？

スル。

……  
痛いですか？

グ  
グ  
グ

あッ

ゴ  
ゴ  
ゴ

……それでも  
ないみたい  
ですね？

ちろ  
ちろ  
ちろ

こんなに  
硬くして……

ビク  
ビク





はーっ...  
も、もう...  
こんなこと

やめて  
くだ...さい...  
却下です♡

ずん  
ずん

あ  
あ

あ  
あ!!

ちん

ギ  
ギ

私は嘘を  
吐きません...

あ  
あ

あなたと契れて  
今とても  
気持ちいいです...

僧侶だって  
人間である前に  
動物です。

生き物の本質が  
求める快樂自体を  
否定することなんて  
不可能なのですよ？

あ  
あ

ギ  
ギ

ぐり

ぐり



あなただって  
もうとっくに  
悟っている  
はずで...

その  
からだから...  
菩提で...



今度あなた自身の意味で...

ただし

か  
ろ  
...



今から拘束を解いてあげます

さ...  
もう一度快楽に身を委ねてみなさい?

ア  
...



...





白蓮 聖人っ...

あ

あん

ちやほ

あん

ムキッ

ビクッ





貴方が  
いけない……

貴方が……  
僧にありながら

こんなにも  
美しく

ぎゅっ

淫乱  
だったから

貴方が私を……

グッ  
ホッ

墮落させたっ……

グッ  
ホッ

ぎゅっ

まあ非道い……

それがっ

貴方の

グッ  
グッ

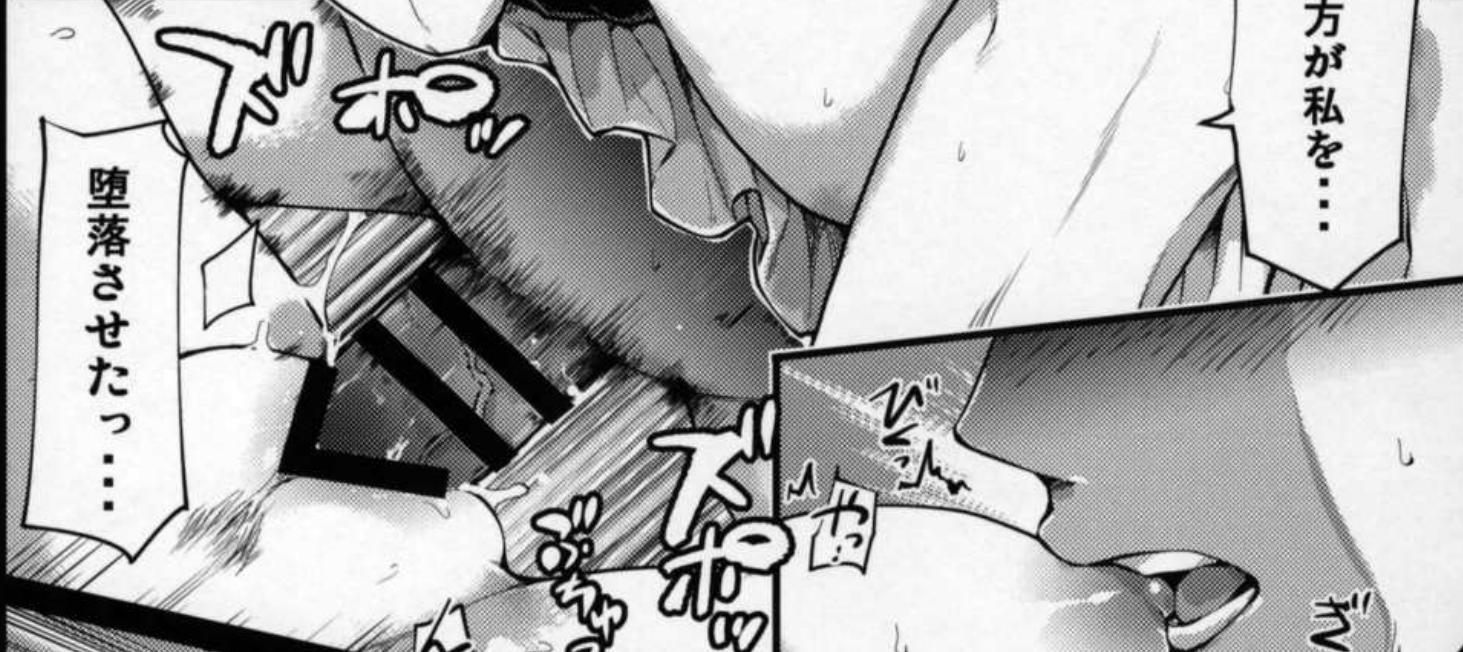
「あーっ」

答え

です

のっけ

グッ  
グッ





黙れえええつ!!!



言い訳しながら  
こんなに出すなんて...


自由にさせて  
あげた途端

まったく...

はあっ


はあっ






瓜二つだな…

貴様の師に…



あの師にして  
この弟子あり



という  
ところか…  
くっくくく…



師弟揃って  
欲望の傀儡と  
なった気分は  
どうだ？

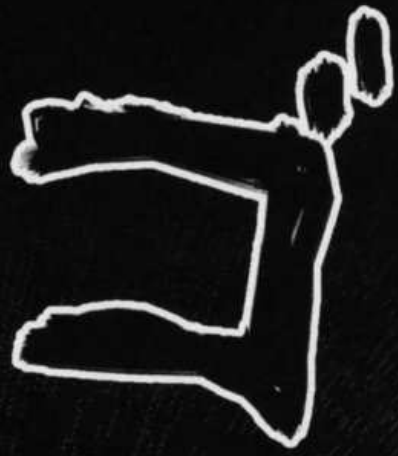


ぞわぞわ

ぞわ？

破戒僧よ…





程なく後  
だったな

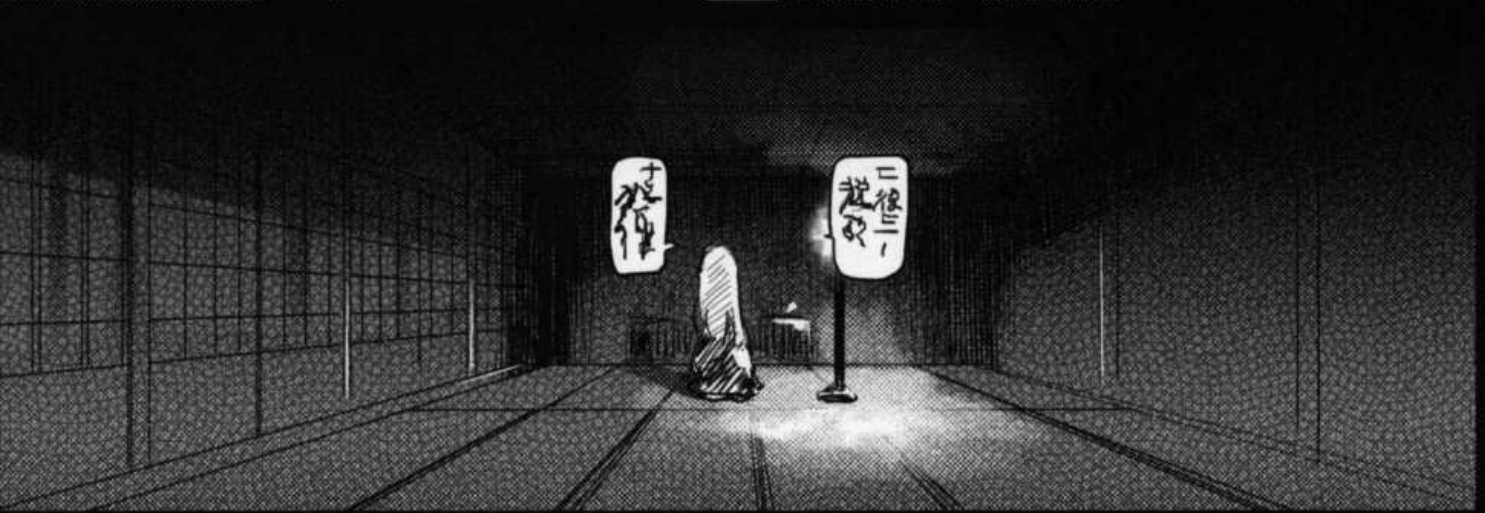
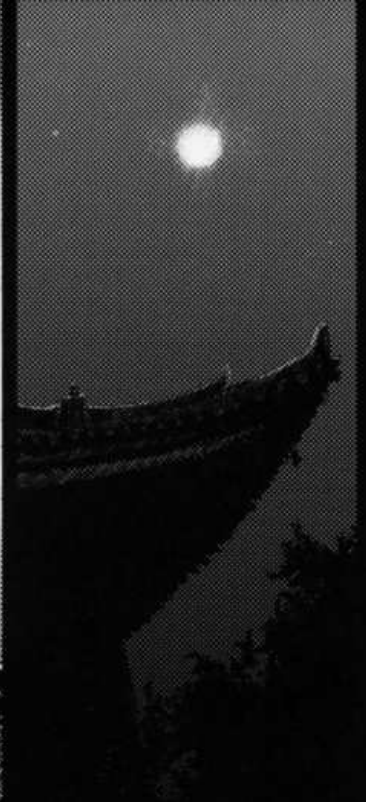


あの若僧が  
先代と同じ  
最期を選んだのは…





百足解

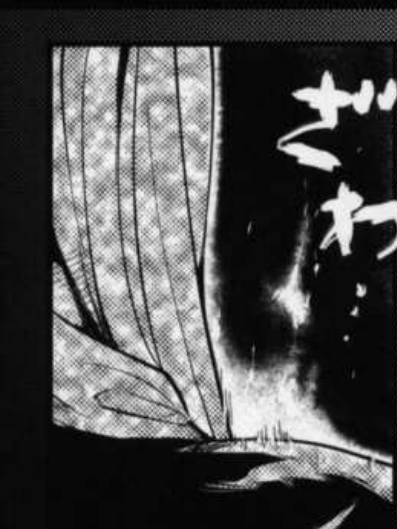


百足解

百足解

グクッ：  
おい青様：

昨日の若僧：  
何とも情けない  
男だったな：



おわ

百足解

アレ位で  
満足しているわけ  
ないだろうなあ？

青様のような  
煩惱塗れの  
聖人面女が



ぞわッ

色欲狂いの

ぞわ  
ぞわ

ぞわ  
ぞわ

メス僧があ？

……ッ  
しかしあの坊主共も…

音に聞く  
聖白蓮サマとも  
あろう者が

煩惱の化身である  
この魔羅に  
取り憑かれているとは思わなかったらう…

おい…聞いて  
いるんだろ？

ぞわ  
ぞわ

ぞわ  
ぞわ



輪廻の箍を外れてまで  
欲した永<sup>とこしえ</sup>久の若さ

試させて  
やるわ!

この下品で  
淫乱な体で何人の  
若僧を墮落させて  
きたんだ?

今夜はどの  
僧を墮として  
やろうか?

なあ…  
聖人サマ?

はなして

おはなして

ドロドロ  
ドロドロ

ひび

ドロ

ドロ

おはなして

おはなして

ズン

グハッ

たろんが

ガッ

おはなして

ワ

ちゅ

ちゅ

ズン

ズン

ズン

ちゅ

おはなして

おはなして



だっ…

だれが  
そんな  
はしたない…

こんな腰砕けで  
何を強がっている？

そろそろ認め  
たらどうだ  
聖白蓮…？

うぞ  
うぞ  
うぞ

青様のその  
若返った肉体が  
オス肉を欲している…

青様はその  
永久の命を賭しても  
悟りなど開ける  
はずがないことを…

それ以上…

や…やめなさい！  
ちよつと！

ズ…

ズ…

発情家畜が！

ズ  
ズ

びびん

ズ

肉穴が  
押し返して  
きよるわ！

おお…？  
ご自慢の法力か？

鋼…体…！

ぎ  
ぎ

ぐ  
ぐ



無駄なあがきだ

おーら  
スキあり！

ズ

どうした？  
こんなにあやすく  
侵入を許して  
しまったぞ？

しかも昨日の  
オスの子種が  
まだ又メついで  
いるな？

ズ  
ズ  
ズ





思い出すまで  
力を貸して  
やろう...

ならば...

うん

うん

うん

どれも娯楽では  
味わえぬ肉塊よ...

うん

うん

うん

さあ  
どれがいい？

目移りして自らでは  
選べんか？



くっ...  
随分若々しい  
肉穴だなあ聖白蓮...

ガク

ガク

そんなに  
オスと交尾  
したかったのか？

子宮は一度  
閉じたんだらう？

ちが...  
私は...

ちゅ

ちゅ

ちゅ





なら代わる代わる輪姦してやるわ!



好きなだけ不細工なメス顔を晒せ!

こんな…もの…なんかに…あッ



くっつ お気に 召さぬか…



ではこれは どうだ!?

お気に入りには  
コイツのようだなあ！

ぼんや

無様なツラを  
教徒どもに見せて  
やったらどうだ！





オラッ!

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ  
イクッ...

ハッ  
口ほどにもなく  
あつちゅなく  
昇天したか

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ

所詮 責様も  
肉欲ひとつ御せない  
ただの動物だったな

あつちゅ

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ

あつちゅ  
あつちゅ  
あつちゅ

はあ  
ちゅ、ちゅ  
可愛い...まひ...  
今のは...

私の欲とは  
眼原...なく  
無理矢理...

あつちゅ

貴様ら僧は  
言い訳ばかりだな！

オスの僧はメスとの  
交尾を禁じられて  
いるのだろうか？

だからオス同士  
ならば問題ないなどと  
勝手な理由を付け

オス同士  
糞穴を使って  
交わる：

現に貴様も  
昨日は若造の  
尻穴を犯して  
やったではないか

ぽ

あ

ひ！

何を！

貴様も  
僧らしく…

今度はケツで  
また逝け！

ズブズブ

ああ





何度でも着床  
させてやるぞ！

煩惱の子種を！

あ

ひゃあ！！

どろっ

グッ

ド

ん

ド

フ  
ウ  
ウ

どろっ







聖……？



はっ



大丈夫……  
ですか？



はあ……

だいじょう……

はあ……

最低……  
なのに……

私……

は……

は……



……何でも  
ありませんよ  
星……

大丈夫です……

大丈夫  
なんかじゃ  
ない……

もう……  
カラダが求めて  
抑えられない

貴様が望んだ  
その若く美しい  
菩提は今や…

交尾したい…っ

ただ僧どもを  
墮落させるための  
ものに過ぎぬ…

ならば  
墮として墮として  
墮とし尽くせ…ッ

はあ…

はあ…

はあ…

貴様の欲望が  
満ちるまで…

はあ…

はあ…



そうして貴様は  
自らの肉欲を  
満たすため

阿闍梨の顔で  
さまざまに  
寺へ入り込み

ん♡

ががががが

ぽちゅん

我が代わりとして  
次々と僧侶どもを  
墮落させた

ん♡

ぐぽん

ん♡

うん♡

びゅん

ん♡

うん♡

ぽちゅん

聖人♡

どん

聖様！  
いまさら！

時には  
一度に何人もの  
若僧どもの  
煩惱の捌け口と  
なった…

ほあっ

ぽちゅん



気持ちいいですか?

貴様の体で果てた墮落僧は十や二十ではきくまい...



だが相手は所詮並みの人間...



そうして更なる快楽を求めた貴様は...

直ぐにそれに飽いた...



底知れぬ貴様の欲望は

ダメだ...

どくん

うお...

おおッ





妖怪共  
に  
体  
を  
許  
し  
に

それ  
快  
楽  
を  
貪  
つ  
た





妖怪達を助け自分の妖力を維持するため...

奴らに対しても布教活動をしていたが

その実 奴らを寺に招き夜な夜な乱交を重ねる始末...

我は最初僧侶どもを墮落させるただそれのみのために貴様を利用していたが

最早貴様は自ら進んで化物どもと交わる発情牝に成り下がったのだ

それが貴様の...

ゴゴゴ

ゴゴゴ

おっ

あほ

おっ

バシバシ...

はは

が





本質  
だったのだ！

聖様！

もう辛抱  
たまらんツ！

いいであっ！  
好きなだけっ！

出して  
くださいっ







とん とん とん

カッパ

カッ

カッ

あ  
あ  
あ

カ

カ

カ  
カ  
カ

カ





鬼衆の方々が  
お契り  
下さいました...

見て下さい  
星...



ほら...  
こんなじ

はっ♡

は♡

ジュン...

ジュン...

ジュン...

グ

ホ

ジュン...

ホ

貴様の仲間は  
何とか隠そうと  
したようだが



邪淫は  
すぐに  
露見した







あんな美しい姿をして歩いて

なんと恐ろしい...

化け物共と密通していたらしいじゃないか

おいたか？

あの聖人だろうか？



聖人面した化け物売笑婦だ  
だつたわけだ



格好の理由付けを与えることになった...

貴様の墮落は貴様の力を恐れ疎んでいた宗派の者達に



ゴ

ゴ

だが安心しろ  
聖白蓮…

いつか必ず  
新たな欲が  
貴様を再び  
呼び起こす

そして貴様と  
貴様の欲が  
永久である限り…

我もまた…  
貴様の裡うちに居続ける

ゴ

それまで漸次…  
我と共に眠ろう  
ではないか

ゴ

さあこの扉が  
閉じた時

貴様は  
新たな世界を  
目めにすることに  
なる…





其処が…

魔界だ…

ゴ

ゴ

コ

\*

、

、



あ と が き

魔界への封印前の出来事ということでひとつ。

今回勉強のために読んだのは  
今東光著『稚児』です。

いつも参考にする資料が間違っている。

学んだこと↓  
無明火(ムミョウカ：男根のこと)  
法性花(ハウショウゲ：肛門のこと)

今後 いかがわしい本を読んだときの感想を大変知的に書きたい場合

「無明花が枯れ果てました」  
「法性花が濡れそぼりました」  
「無明火が法性花を蹂躙せしめる場面がいとあはれでした」

などと書くとみんなに一目置かれるかもしれません。

竹刈シウム

飛 淫 僧 侶

HOLIER THAN THOU

2017年8月11日 初版発行

著者  
竹刈シウム  
Mail:takecalcium@gmail.com

発行  
武装カルシウム

印刷  
株式会社 緑陽社



HOLIER THAN THOU

Armament: Calcium

